

報 向日市

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 広報広聴課
◎電話 075(931)1111

まちのうごき
(6月1日現在) (5月中)
世帯数 14,433世帯 生れた人 97人
人口 48,452人 亡くなった人 12人
男 24,061人 転入した人 404人
女 24,391人 転出した人 293人



激増する交通事故、車・クルマ・くるま社会の弊害が……

あなたは、身のまわりの安全について考えたことがありますか。みなさんには聞きませんが、七月一日は「国民安全の日」です。私たちの日常生活の中には、いろいろな災害がひそんでおり、いつ襲ってくるかわからない状況です。私たちはいまだ一度、まわりの安全性を再検討し、市民一人ひとりが安全意識を持ちましょう。

安全ですが、あなた

17日「国民安全の日」

近年の産業経済の高度成長と生活様式の急激な変化で、発生する災害も複雑多岐となつていきます。自動車、オートバイの激増に伴って続発する交通事故、工場など

からの産業災害、住居火災など、私たちの生活はいろいろな災害に日夜おびやかされています。また、比較的安心と思われていた家庭においても、決して安全な場所であるとはいえないまま、ベランダからの墜落、乳幼児・老人の窒息、幼児の溺死など毎日想像以上に多くの事故が発生しています。このような状況のもとに、災害から私たちの身を守るには、私たち自身がしっかりと安全意識を

昨年の火災

市内で九件

昨年、市内で発生した火災は九件で、前年度に比較して三件の減少となっており、昭和四十八年の十八件を比べると、火災件数は年々減少が続いています。死者も昨年はゼロ

人命尊重の自覚を

交通弱者の事故が多発

いま私たちのまわりで一番怖いのは交通事故です。昨年、市内で発生した交通事故は二百七件で、死者四人、負傷者二百六十三人と、多くの市民が交通事故にあつていきます。なかでも、一般に交通弱者といわれる子ども・お年寄りの事故、また自転車による事故が非常に多く発生しています。市では、子どもとお年寄りを交通事故から守ろうと、昭和四十九年四月から、町内会や自治会を対象に、親子のセーフティクラブをまた五十年十二月には、老人クラブを対象に、お年寄りのセーフティクラブを足させ、安全意識の普及と交通ルールの実践を推し



消防訓練も本番さながら……

「国民安全の日」は、国民それぞれの日々の生活における行動や施設の安全について反省を加え、その安全確保に留意するとともに、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通災害、火災など国民の日常生活の安全をおびやかす各種災害の発生を未然に防止しようという趣旨のもとに、昭和三十五年から設けられた日です。

火災予防意識を高めるため、一般家庭や事業所などに対して防火教育・指導を行っています。しかし、大切なことは、市民のみならず一人ひとりが、日常生活において防火の努力をすることです。

市ではこのように、安全教育、交通安全などを通じて、交通ルールの徹底をはかっていますが、市民のみならず一人ひとりが交通安全を守っていき、最大の事故防止対策であり、さらには死に直結に続く道です。

市民一人ひとりが安全意識の向上を

すべての事故は、ちょっとした不注意、気のゆるみ、慌みなどから原因であることが多いものです。私たちがお互いに、日常生活行動の中で安全について話し合い、みんなが健康で明るい毎日が送れるよう、市民一人ひとりが、安全意識に対する一層の努力を重ねていきたいと思います。

向日市長 民秋徳夫

水道行政問題について

！ 昨年十二月議会の一般質問において、水道行政にかかわる業者と行政側との結びつきなどの事実が問題となり、これを調査するため、議会が水道行政調査特別委員会を設置されました。以来、十五回の委員会が開催され、関係者から事情を聴かれるなど、調査活動を進めていただいたのであります。その結果、六月二十三日の本会議におきまして同委員会委員長から調査結果の報告がなされ、議会の決定をみて、同日、市長が議長から、市長にその結果報告を添え、水道行政調査特別委員会が指摘した事項を尊重し、もって、市民の信頼と期待にこたえる市政の推進を期されたいという申し入れを受けました。

私は、市長就任当初(五十年四月)、水道行政の改革を中心に、また、市長薄局も含め、人事の刷新と、業務管理の合理化、即ち、五十一年三月一日、公認業者制度を設け、行政と業者の関係を明確にしました。その他、執務体制の確立に努め、網羅の刷新をはかるなど、全体の奉仕者として、公務員の自覚を高めることを強く求めてまいりました。

しかし、いかんがらこの問題は、積年の古い体質なり、また、行政を預かる者に、たとえ、継続的威圧行為があったとしても、これに対応する姿勢が、厳正さと潔癖さを欠いたことによるものであり、市民の皆さんに、行政不信の念を抱かせたことは、誠に遺憾でありました。かかる問題を起すこと、その監督不行届きについて、深く反省しますと、共に皆さんに心からお詫び申し上げます。同日、私の政治姿勢を明確にし、私自身の責任をただすために処分を受け、また、関係職員も厳正な処分を行いました。

そして、幹部職員に対し、公務員として、いやしくも市民の疑惑を招くような行為は厳禁とし、心をはきしめ、全体の奉仕者として、業務に全力を傾注するように努め、市民の信頼の回復を得るようひげました。

今後の水道行政の改善につきましては、特別委員会の報告、議会からの申し入れの趣旨・意見を率直に受けとめ、その内容を十分に理解して、人事異動も含め、行政組織の改善や事務執行体制の確立をはかり、また、公認業者に対して、指導監督を強化して行く所存です。清潔で明るい水道行政の確立を期するとともに、自然たる態度をもって行政を進め、市民の生命を守る飲料水を供給するため、努力する決意であります。